

## 自己血採血バッグ内の粗大凝集塊の形成



大槻 郁子 高瀬 明美 高山由香利 岸野 光司 室井 一男

自治医科大学附属病院輸血・細胞移植部

キーワード：自己血，粗大凝集塊，白血球除去フィルター，妊婦

31歳，女性，初産婦。前置胎盤のため，妊娠33週から36週に自己血を全血で200mlずつ4回，総計800mlを貯血した。帝王切開術施行前日，外観検査を行ったところ，4バッグすべてにおいて粗大凝集塊を認めた。凝集塊はバッグの下部に沈殿し，肉眼で確認できる大きさであった(図)。手術前日，自己血採血バッグを大型遠心機で遠心し，凝集塊の混入を避け，赤血球と血漿とに分離したが，すべて使用せず廃棄となった。妊娠後期は凝固が亢進しているため，混入した白血球によって採血したバッグ中の赤血球に凝集が起き易い<sup>1)2)</sup>。自己血採血バッグにみられる凝集塊は，微小～粗大なものまで様々である。本事例後，妊婦から採血された自己血は白血球除去フィルターを通し保存している。それ以後，自己血バッグ内の粗大凝集塊の形成や自己血返血時の輸血フィルターの目詰まりは生じていない。一方，白血球除去フィルターを使用せず，400ml採血

バッグ(CPD入)に300mlと少なく採血することで凝集塊の発生が減少するとの報告があるが<sup>3)</sup>，科学的な有用性は立証されていない。自己血貯血時に使用する白血球除去フィルターの保険収載が望まれる。

著者のCOI開示：本論文発表内容に関連して特に申告なし

### 文 献

- 1) 角倉弘行：周産期の凝固線溶系の変化とその対策. *Thrombosis Medicine*, 4 : 319—326, 2014.
- 2) 比留間潔：自己血輸血における残存白血球による問題点と保存前白血球除去の意義. *医学の歩み*, 209 : 405—410, 2004.
- 3) 黒牧謙一，竹田 省，関 博之，他：妊婦に対する自己血輸血法に関する検討. *日本産科婦人科学会雑誌*, 46 : 1213—1220, 1994.

## FORMATION OF COARSE AGGREGATES IN AUTOLOGOUS BLOOD BAGS

*Ikuko Ohtsuki, Akemi Takase, Yukari Takayama, Koji Kishino and Kazuo Muroi*

Division of Cell Transplantation and Transfusion, Jichi Medical University Hospital

**Keywords:**

Autologous blood, Coarse aggregate, Leukocyte removal filter, Pregnant woman

---

©2016 The Japan Society of Transfusion Medicine and Cell Therapy

Journal Web Site: <http://yuketsu.jstmct.or.jp/>